

# 確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立宮山台中学校  
校長 山根 強

中学校区におけるめざす子ども像

自らを律し、自ら主体的に、生涯にわたり学び続ける生徒

## 令和7年度 重点目標

- ・学習規律を基盤とした学力向上の推進
- ・ICTを積極的に活用した授業改善の推進
- ・生徒指導体制の充実（いじめや不登校の未然防止）
- ・豊かな人権感覚と道徳性の育成
- ・不祥事を絶対に起こさない

### 「確かな学び」の現状

生徒の学習への思いは強く、昨年度の堺市CBT調査でも全学年で、「教科・活動の時間は好きですか」の質問に対しての肯定的な回答は、ほぼどの教科でも堺市平均を上回った。また、昨年度のチャレンジテストのアンケートでは「家で、自分の苦手なところ、必要なところを考慮して勉強している」の項目では、3年生で大阪府平均を上回っているものの、1・2年生では大阪府平均を下回っている。今年度も、学習への意気込みは感じられ改善傾向にはあるが、「テスト前」「テストに出題する」などの状況にならないと学習に前向きにならない生徒が、未だに見受けられる。今年度は、目的・目標（めあて）・見通しを持った授業や教育活動を行い、ノート掲示でモデルを示すことを継続し、自分の考えや感想を書いたり、まとめたりする力をつけ、総合的な学力の向上を図っていきたい。

### 「豊かな心・健やかな体」の現状

学校行事に前向きで、最後まで協力して熱心に取り組める生徒が多いのが本校の特徴である。屋休みにボールを使って運動場で遊んでいる生徒も多く、部活動以外の外部のスポーツクラブに参加している生徒も多い。昨年度の学校教育アンケートの「体育授業や部活動に積極的に参加している」では肯定的な回答が9割を超えている。また、昨年の堺市児童生徒・学習生活状況調査の質問項目の「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがありますか」の肯定的回答が堺市平均と同程度である。また、学校教育アンケート保護者用での「テレビを見る時間やゲーム・携帯電話のルールを守っている」の項目で肯定的回答が48%に留まっている。今後、定期的に全校集会等で注意喚起をし、肯定的回答の数値をあげるべく努力していく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)	達成状況(年度末)				
								自己評価	学校関係者評価			
確かな学び	学力の向上	授業力の向上	★研究授業の実施 ・堺 STEAM ブックの事例を参考にした授業づくり ●学力向上委員会と教科会での改善検討 ●学びのコンパスを指向した授業改善 ●1人1台PC端末を活用した授業	年2回、計4教科での研究授業の実施 ・「授業中の学ぶ雰囲気が出てきている」の肯定的回答を75%以上・「教科・活動の時間は好きですか」の肯定的回答を全教科で70%以上	実施状況の確認 学校教育アンケート(生徒用) 児童生徒状況調査	12月 12月	△ 国語、理科、英語、音楽で研究授業を実施。	○	・予定通りに国・理・英・音で研究授業を実施 ・「授業中の学ぶ雰囲気が出てきている」の肯定的回答が84%であった。 ・各教科で積極的にPCを用いた授業を実施し、「授業で自分の考えをまとめたり、発表したりすることがある」の項目で69%の肯定的回答を得た。	○	・学校は授業の環境作り等で一生懸命に前向きに努力してくれている。 ・先生方が各教科の授業で、積極的にPCを使用してくれている。授業内容も工夫して取り組んでおり、今後も継続していただきたい。	
		基礎学力の定着	★学力向上の取組 ・出る出るプリント ・朝学習 ・朝読書 ・質問会や放課後学習 ・ノート掲示の取組など	テスト対策プリントの実施状況や朝学習をはじめとした反復練習、テスト前学習会など放課後学習の実施、ノート掲示。	実施状況の確認	毎学期末	○	・出る出るプリント、朝学習、朝読書の実施。 ・テスト前の質問会や放課後学習 ・ノート掲示を定期的実施。	○	・各学年で定期テスト前には、「でるでるプリント」を配布し、放課後学習会やノート掲示を実施している。 ・「チャイム着席を守っている」の項目で肯定的回答が94%だった。前年度が95%であるため、後わずかで前年度値にもどすことが出来る。 ・「授業に集中していますか」の項目で肯定的回答が88%であった。目標値には届かなかったが、今後とも声かけ等をしていく。 ・「家庭学習を毎日している」の項目で肯定的回答が64%・「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多くの時間をとっている」の肯定的回答は86%で目標値を大きく上回っている。	○	・各学年でテスト前等に取り組んでいただいていることが、成果として表れているように感じる。 ・「家庭学習に多くの時間を取っている」の項目での肯定的回答が目標値より10ポイント以上上がっていることは評価できる。来年度もこのまま継続していただきたい。
	学びの基礎力	学習規律の確立	●生徒会、風紀委員会の取組との連携 ・時計を見て行動する ・チャイム着席 ・授業への集中	「チャイム着席を守っている」の肯定的回答を前年度にもどす 「授業に集中していますか」の肯定的回答が90%以上	学校教育アンケート(生徒用) 児童生徒調査	12月 12月	○	・生徒会によるチャイム着席運動の実施。 ・風紀委員による服装・持ち物チェックの実施。	△	・生徒会によるチャイム着席運動の実施。 ・風紀委員による服装・持ち物チェックの実施。	○	・「家庭学習に多くの時間を取っている」の項目での肯定的回答が目標値より10ポイント以上上がっていることは評価できる。来年度もこのまま継続していただきたい。
		家庭学習習慣の確立	●学力向上委員会と教科会との連携 「学びと生活のすすめ」による学習習慣の確立	生徒用アンケートの「家庭学習を毎日している」の肯定的回答65%以上、保護者用アンケートの「家庭学習強化週間では、家庭学習に普段より多くの時間をとっている」の肯定的回答75%以上	学校教育アンケート(生徒用・保護者用)	12月	○	・家庭学習強化習慣の実施。 ・週末課題を与え、PCの持ち帰りをし、家庭学習を推進。	○	・家庭学習強化習慣の実施。 ・週末課題を与え、PCの持ち帰りをし、家庭学習を推進。	○	・「家庭学習に多くの時間を取っている」の項目での肯定的回答が目標値より10ポイント以上上がっていることは評価できる。来年度もこのまま継続していただきたい。
豊かな心・健やかな体	生徒指導体制の充実	「チーム」として機能する生徒指導体制	●生徒指導委員会の取組 ・適切な初期対応と学年教員集団を基にした「チーム」での生徒指導対応 ・状況に応じた「ほうれんそう」の徹底	・月1回以上の事象の情報の共有 ・「学校はいじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答90%以上	毎月の確認 学校教育アンケート(保護者用)	毎月 12月	○	毎月の生徒指導委員会の開催。	○	・毎月、生徒指導委員会・職員会議で生徒の様子を全職員で情報共有している。 ・「学校はいじめや暴力がない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的回答が93%。 ・いじめ・不登校対策委員会を月1回開催し、全職員で情報を共有している。また、各学年で、不登校生徒への学力保障の観点からオンライン授業を実施している。	○	・いじめ・不登校問題にも教職員が協力して対応していることは素晴らしい。来年度もこのまま頑張ってください。 ・不登校生へのオンライン授業の実施は、非常に有難いことであり、今後も継続して取り組んでいただきたい。
		いじめ問題等への迅速な対応と不登校生徒への取組	●★いじめ・不登校対策委員会の取組 ・いじめや暴力に対する迅速な対応 ・不登校生徒が相談しやすい環境づくり	・いじめを迅速な対応で解決する。 ・不登校生徒の割合を前年度より減少する。	日常の確認 学校教育アンケート 年度末統計	日常 12月 年度末	△	・毎月のいじめ・不登校対策委員会の実施。 ・オンライン授業の実施。	○	・毎月のいじめ・不登校対策委員会の実施。 ・オンライン授業の実施。	○	・いじめ・不登校問題にも教職員が協力して対応していることは素晴らしい。来年度もこのまま頑張ってください。 ・不登校生へのオンライン授業の実施は、非常に有難いことであり、今後も継続して取り組んでいただきたい。
	心の教育と体力向上	心身の健康を保持し、運動に親しむ	●保健体育や部活動を中心に保健知識の充実と体力の向上	「保体の教科・活動は好きですか」の肯定的回答75%以上 「体育授業に積極的に参加している」の肯定的回答が95%以上	児童生徒調査 学校教育アンケート(生徒用)	12月	○	熱中症対策を講じながら、体育の授業や部活動の実施。	△	・「体育授業に積極的に参加している」の肯定的回答が93%で目標値を超えなかったが今度も努力を続けていく。 「栄養バランスを考えて食事している」の項目の肯定的回答が75%となった。 ・「学校行事はみんなと協力して取り組んだ」の項目で肯定的回答が96%で前年度を上回った。今後とも推進していく。	○	・給食が始まり、子どもたちが楽しく過ごしていることが一番である。給食を通して食育の大切さを指導していただき感謝している。来年度以降も継続してください。
		食育の推進	●中学校全員喫食制給食を通じて、食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。	堺市児童生徒・学習生活状況調査の「朝食は毎日食べていますか」の項目の肯定的回答で90%以上 「栄養バランスを考えて食事している」の項目の肯定的回答で55%以上	児童生徒調査 学校教育アンケート(生徒用)	12月	○	給食の時間に食事の重要性を伝えたり、家庭科の授業で「あすけん」を利用した授業を実践。	○	・「学校行事はみんなと協力して取り組んだ」の項目で肯定的回答が96%で前年度を上回った。今後とも推進していく。	○	・「学校行事はみんなと協力して取り組んだ」の項目で肯定的回答が96%で前年度を上回った。今後とも推進していく。
開かれた学校づくり	地域協働	学校行事、人権教育及び道徳教育の充実	●状況に応じた学校行事の実施と充実 ●あらゆる人権に関する感性を身につける。 ●道徳の時間を要として、他教科等や教育活動と関連させ、心の教育充実を行う。	・「学校行事はみんなと協力して取り組んだ」肯定的回答が前年度を上回る。 ・「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の肯定的回答が、85%以上 ・道徳の標準授業時数の確保	学校教育アンケート(生徒用) 実施状況の確認	12月 年度末	○	・行事を計画的に行いながら、学期ごとに振り返りの実施 ・人権教育に向けた、教員研修・授業・講話の実施。	△	・「人権の大切さについて学ぶ機会が多い」の項目の肯定的回答は82%で目標には届かなかったが、各学年での道徳の授業や人権講演会等を通じて進めている。また、各学年の道徳の時間ではそれぞれの教材を使い、充実した授業を行っている。	△	・道徳の授業や人権講演会等を通じて、人権について学ぶ機会を設けているが、まだまだ浸透していないのが現実である。来年度も継続して実施していただきたい。
		積極的な情報発信	●学校ホームページや学校だより、テトルを利用し積極的に学校の情報を発信する。またオープンスクール等で学校の様子を公開する。	「学校だより、学年だより、ホームページなどにより学校の様子を知ることができていく」の肯定的回答が95%以上	学校教育アンケート(保護者用) 実施状況の確認	年度末	○	HPやtetoruと学校・学年だよりなどの定期的な発信。	○	・「学校だより・学年だより・ホームページなどにより学校の様子を知ることができていく」の肯定的回答が98%と高い数値を得た。 ・10月12日に実施された「竹城台パワフェスタ」で生徒会が模擬店のお手伝いをし、地域の行事に貢献できた。	○	・学校だより・学年だより・ホームページ等で積極的に学校の情報を発信することで、子どもたちの活動の様子が分かりやすい。 ・今後は竹城台校区に限らず、全校区の行事に参加出来るように努力していきたい。

**校長より(年度末)**・今年度も基本的には落ち着いた状況で活動ができた。いじめや様々な課題について、今後も、早期発見し、対応・解決できるように努める。不登校については、登校しやすい環境を整えようと、ICTを活用したオンライン授業を実施することができた。引き続き、問題行動や不登校の減少に向けて教職員全員で考えてまいります。  
・ICTの活用については、教職員が意識を高く持つことや、習慣化することで、少しずつではあるが進めることができました。また授業改善においても、今年度も様々な研修を実施することができ、少しずつ改善することができた。

**学校関係者評価者から(年度末)**・学校としてオンライン授業の実施も含め、不登校生対応にも積極的に取り組んでくれていて、今後も継続して取り組んでいただきたい。  
・教職員は様々な場面でよく頑張ってくれている。今後も子どもたちのために頑張ってください。